



2018年9月5日

新型 Audi A8 を発売

- 1994年の初代登場から、常に「Vorsprung durch Technik (技術による先進)」を体現してきた、アウディのフラッグシップセダンの第4世代モデル
- 量産車では世界初搭載となるレーザースキャナー1個を含む、最大23個のセンサーによる最先端の運転支援システムを搭載し、安全性や長距離ドライブの快適性を大幅に向上
- デジタル時代にふさわしいタッチスクリーンによるユーザーインターフェイスや Audi connect、48Vのマイルドハイブリッドドライブシステムなどの先進技術を全車に搭載

2018年9月5日(水)、アウディ ジャパン(本社:東京都品川区 代表取締役 フィリップ ノアック)は、アウディのフラッグシップセダンである Audi A8 を8年ぶりにフルモデルチェンジし、10月15日(月)より、全国のアウディ正規販売店(126店舗:現時点)を通じて販売を開始します。

Audi A8 は初代から常に、技術の最先端を歩み続けてきたフラッグシップセダンです。革新的なボディ設計技術であったアウディスペースフレーム(ASF)、高効率直噴エンジン、アダプティブエアサスペンション、前後不等分トルク配分の quattro(フルタイム4WD)、フルLEDヘッドライト、最先端のドライバーアシスタンスシステム、そして常に最新世代のMMIインフォテイメントを採用するなど、Audi A8 はアウディの技術的ショーケースとしての役割を受け持ってきました。そして第4世代としてフルモデルチェンジを果たした新型 Audi A8 は、すべての要素を大幅にアップデートし、ふたたび技術の地平を切り拓いています。

先進のドライバーアシスタンス:レーザースキャナーで高精度な運転支援システムを実現

新型 Audi A8 には、量産車として世界初の搭載事例となるレーザースキャナー(フロント:1基)を始め、ミリ波レーダー、カメラセンサー、超音波センサーを合わせて最大23ものセンサーを搭載しています。またこれらセンサーからの膨大な情報を統合的に分析して高度な周辺環境モデルを構築する、セントラル ドライバーアシスタンス コントローラー(zFAS)の採用も特徴で、これにより人間の感覚に近い、遅れの少ない自然な制御を実現しています。

新たに追加された機能としては、見通しの悪い交差点でのフロントクロストラフィックアシストや、全方位からの事故について予防し、被害を軽減するプレセンス 360、従来のアダプティブクルーズコントロール(ACC)、アクティブレーンアシスト(ALA)、トラフィックジャムアシストの3つの機能を統合したアダプティブドライブアシスト(ADA)などがあります。夜間の視界も、安全性には大きく貢献します。新型 Audi A8 はHDマトリクスLEDを備え、広い照射範囲を得ています。車両前方を監視するセンサーからの情報を用いて、32個のLEDを個別に点灯制御することにより、前走車および対向車のドライバーを眩惑することなく、最大限の照射範囲を実現します。さらに70km/h以上で作動する特別なライトにアウディ レーザライトがあります。これは一般的なハイビームの2倍の照射距離を持ちます。

パワートレイン:マイルドハイブリッドドライブシステムを採用した高効率エンジン

新型 Audi A8 のエンジンには250kW/340psの3.0ℓV型6気筒直噴ターボ(Audi A8 55 TFSI quattro)と、338kW/460psの4.0ℓV型8気筒直噴ツインターボ(Audi A8 60 TFSI quattro)の2種類のガソリンエンジンを用意しました。これらは軽量アルミ合金クランクケース、90度のVバンク角、バンク内ターボチャージャーなど、多くの技術を共有するモジュラー型の高効率エンジンです。3ℓで先代比+22kW/60Nm、4ℓで18kW/60Nmの強化を



果たした一方、燃費は 55TFSI quattro で 10.5km/ℓ、60 TFSI quattro で 8.7km/ℓ（数値はともに JC08 モード）となっています。

トランスミッションはともに 8 速ティプトロニック（トルクコンバーター付き AT）で、quattro（フルタイム 4WD）が標準装備されています。新型 Audi A8 の quattro はセルフロックキング センターディファレンシャルを備えるタイプで、通常時のトルク配分は前 40：後 60 の割合ですが、ホイールのスリップ状況に応じて、フロントに最大 70%、リヤに最大 85% のトルクを配分することもできます。

エンジンの技術的ハイライトとして、マイルドハイブリッドドライブシステム（MHEV）を搭載しています。これは 48V リチウムイオンバッテリーと、クランク軸にベルトを介して連結される BAS（ベルト オルタネーター スターター）を中核技術とし、燃費を改善します。48V という電圧を背景として、最大 12kW という高いエネルギー回収率が特徴です。減速時には 22km/h 以下でのアイドルストップ&スタートを、また 55～160kmh の範囲でスロットルペダル オフにすると、エンジンを停止してのコースティング（惰性）走行を可能にするなど大きなメリットがあり、欧州基準での計測では 100km 走行あたり 0.7ℓ の省燃費効果があります。アイドルストップ状態からの再スタートは、BAS によって、スムーズかつレスポンス良く行なわれます。

シャシー：オールホイールステアリング

新型 Audi A8 にはシャシーにおいても多くの最新技術が投入されています。まずはダイナミックオールホイールステアリング（四輪操舵）がオプションで用意されました。65km/h 以下ではリヤタイヤはフロントと逆方向に最大 5 度まで電子制御により操舵され、特に都市部での取り回しの良さに貢献します。これにより最小回転半径は約 0.5m 小さい 5.3m となります。中高速ではリヤタイヤはフロントと同方向に操舵され、操縦安定性を向上させます。

前後サスペンションアームは、ほぼすべてがアルミニウム製であり、従来品よりも軽量となっています。電子制御式可変ダンパーと組み合わせたエアサスペンションは標準装備で、オーディオドライブセレクトによってコンフォート、オート、ダイナミックなど任意でモード変更が可能です。

2019 年以降に導入予定のテクノロジーとしては、AI アクティブサスペンションがあります。これは後述するレーザースキャナーやカメラセンサーを用い、路面の凹凸を先読みすることで、サスペンションストロークをアクティブ制御するものです。四輪それぞれに最大 1100Nm を発生する電動式アクチュエーターとコントロールアームが連結されており、48V バッテリーを電源として直接的にサスペンションストロークを操作、その結果としてロールやピッチをアクティブに制御します。ラグジュアリーセダンに相応しい滑らかでフラットな乗り心地から、まるでスポーティセダンのようなキビキビした身のこなしまでを実現します。またアクティブセーフティ機能も持ち、側面衝突が避けられないとセンサーシステムが判断した場合、ボディ片側を 80mm 持ち上げることで、衝撃を強固なサイドシルで受け止めることができ、キャビン変形と乗員への負荷を大幅に軽減します。

インテリア：MMI タッチレスポンス

先代より広くなったインテリアは、水平基調のデザインが空間の余裕を強調しており、またボタンの代わりにタッチ式スクリーンを採用したことで、クリーンな統一感が生まれています。技術志向と視野の広さを直感させるデザインは、まさに新型 Audi A8 の価値観を体現するものです。

タッチ式スクリーンは 10.1 インチのアップパー、8.6 インチのローワーのふたつが備え付けられています。アップパーはナビゲーションや各種設定などのインフォテイメントを担当し、ローワーには主にエアコンディショナーの操作や、手書き入力を受け持ちます。ダッシュボードに



溶け込むように設置された美しいスクリーンは、スマートフォンに似た直感的なコントロールと、ハプティックフィードバックを伴う精緻な操作感が特徴です。このインターフェイスにより、アウディは新しいユーザーエクスペリエンスを提供します。

常時 LTE ネットワークに接続されている新型 Audi A8 は、Audi connect によって目的地のオンライン検索を行ったり、ニュースや天気予報といった情報取得に加えて、最寄のガソリンスタンドや駐車場検索なども可能です。地図データのオンライン更新も当初 3 年間は無料です。また myAudi アプリを使用すると、スマートフォンと Audi A8 とを接続でき、車両状況をチェックや、ドアのロック/ロック解除、そしてナビゲーションに目的地情報を送ったりできます。

ボディ：デザインとマルチマテリアルの ASF（アウディスペースフレーム）

エレガントかつ先進的、そしてスポーティさも兼ね備えたエクステリアは、新型 Audi A8 の機能的特徴である軽量構造や優れたパフォーマンス、quattro などのユニークな価値観を余すところなくデザインとして映し出しています。

堂々たるボディサイズは全長 5170mm、全幅 1945mm、全高 1470mm、そしてホイールベースは 3000mm です（Audi A8 L は全長、ホイールベースともに+130mm）。車重は Audi A8 55 TFSI quattro で 2040kg に収まっています。トランク容量は 505ℓ（VDA 法）です。

ボディストラクチャーはアルミニウム、スチール、マグネシウム、そしてカーボンファイバー強化プラスチック（CFRP）を効果的に組み合わせた複合素材で構成され、極めて高強度・高剛性を誇ります。異なる素材を精密かつ耐久性高く接合するため実に 14 種類もの接合技法が投入されており、その結果として、正確なハンドリングや静粛性を実現し、先代比 24%アップの振じり剛性を持つ、パフォーマンスの高いボディを作り上げています。

車両本体価格

モデル	エンジン	トランスミッション	駆動方式	ステアリング	車両本体価格（税込）
Audi A8 55 TFSI quattro	3.0ℓV6 直噴ターボ 340PS/500Nm	8 速 タイプトニック	quattro	右	11,400,000 円
Audi A8 60 TFSI quattro	4.0ℓV8 直噴 ツインターボ 460PS/660Nm	8 速 タイプトニック	quattro	右	15,100,000 円
Audi A8 L 60 TFSI quattro	4.0ℓV8 直噴 ツインターボ 460PS/660Nm	8 速 タイプトニック	quattro	右	16,400,000 円